

別刷

インフルエンザ予防接種特集号

インフルエンザ予防接種受付開始

今シーズンは定期受診で診察のついでに接種する方は昨年と同様に予約不要で行いますが一般の任意接種希望者については日時限定で接種を行います。

接種日： 11月4日（日曜日） 11月18日（日曜日）
12月2日（日曜日） 12月16日（日曜日）

上記4日間いずれも日曜日のみとします。最も大きな理由は一般診察の患者さんの診療・待合の影響が大きい点です。昨年も4日間行い、非常に効率の良かった集団形式で実施します。隣のデイケアセンターの1階フロアを使用します。

接種時間：9：30～12：00（受付～11：50） 14：00～16：00（受付～15：50）

自宅で体温計測の上問診表を完成させて来場すれば非常に速やかに済ませることができます。

事前予約は不要です

料 金：成人（中学生以上）1回接種2,000円 小学生以下 2回接種 1回1,500円
大分市在住65歳以上の方 1,000円（居住市町村によって違います）

< インフルエンザの予防接種に関してよくある質問にお答えします。 >

1. いつ接種をするのが効果的ですか？

流行期が通常12月から翌3月頃ですので、これに備えて11月初旬から12月中旬までがよいです。

2. 接種は1回でいいの？ 2回接種する方が効果があるの？

65歳以上の方は一回接種で十分な効果があり、小児では2回接種が効果的との報告があります。その他の年齢では一定した見解はまだありませんが一般的には13歳以上は一回の接種で十分とされています。

3. 2回接種のときの間隔はどのくらいがいいの？

ワクチンを2回接種する場合の間隔は原則的には、1～4週間です。免疫効果を高める意味で最適な間隔は3～4週間です。

4. 効果はどのくらい持続するの？

ワクチンの免疫効果は接種後2週から発揮し約5ヶ月程度持続します。

5. 接種すればインフルエンザにかからないの？ 普通の風邪にも効果があるの？

ワクチンは絶対的なものではありませんのでかかることもあります。ただ脳炎などの併発を抑える効果や軽くてすむなどの効果も期待できます。普通の風邪の予防効果はありません。

6. 医療機関によって接種料金が違うのはワクチンに違いがあるの？

いいえ。ワクチンはメーカーの違いはあっても日本全国共通のものであり当然、効果や副反応に差はありません。インフルエンザワクチンは任意接種ですので料金は医療機関の自由設定となります。

7. 妊娠中や授乳中は接種できるの？

授乳中の接種は支障ありません。妊婦に対する接種はデータの集積が不十分であり現時点では有益性を考慮して決定することとなります。ただし妊娠初期は推奨できません。

8. 卵アレルギーのこどもへの接種は問題ないの？

ワクチンにはごく微量の鶏卵由来成分が残存します。通常は殆ど問題ありませんが卵の摂取で重篤なアレルギーを起こしたことがあれば避けることも考慮します。

（文責 小野隆宏）

60歳以上の一級身体障害者にも助成があります、詳しくは職員にお尋ねください。（文責：外来主任久保田）